



第51回 2022-23度国際ロータリーゾーン1A, 2 & 3 ロータリー研究会に参加してきました

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度 ガバナーエレクト **松浦 光紀**
(小樽南RC)

神戸ポートピアホテル（神戸市）に於いて11月19日、ロータリー研究会の附属事業プログラムとして、ロータリー財団地域セミナー、11月20日にはGETS、GNTS、及びメジャードナー顕彰午餐会が行われました。11月21日はロータリー研究会第1日目、22日はロータリー研究会第2日目と4日間の研修を受けさせて頂きました。当地区からの出席者は石丸ガバナー、出村ガバナーノミニー、酒井PG、羽部PG、嵯峨PG、福井PG、大日向PG、藤城2024-25年度地区代表幹事、そして私が参加致しました。

今回の大会には、ジョニファーE.ジョーンズRI会長ご夫妻、イアンH.S.ライズリーTRF管理委員長ご夫妻が出席されました。お二人が同時に来日されることは、珍しいことのように思いました。

20日のプログラムとして、9時からGNTSが開始されました。この日の10時15分からメジャードナーの顕彰午餐会が設けられ、ジョニファーRI会長、ライズリーTRF管理委員長が出席されました。又、写真撮影の他、アーチ・クランフ・ソサエティの表彰も同時に行われました。その後6つのセッションに分かれプログラムが進行致しました。



18時からRI会長ご夫妻、TRF管理委員長ご夫妻歓迎晩餐会が盛大に行われました。

21日はロータリー研究会1日目、開会式に続きRI報告、はジョニファーRI会長から、又TRF報告は、ライズリーTRF管理委員長から報告がありました。その後基調講演としてジョニファーRI会長は、世界のロータリアン数は約140万人、欧米や日本では会員数は減少していますが、アフリカ諸国やインドなどでは、増加が続いている事。女性会員比率は現在25%ですが、32%を目標に会員増強を目指していること。又「イマジンロータリー」について、特に多様性について話され、アフリカ諸国やヨーロッパ等を訪問し感じたこととして、異なる人種や若者たちをクラブに迎え入れる姿勢が大切であることを強調されました。ライズリーTRF管理委員長は、「財団の活動と健全性」についてお話されました。国際奉仕活動として、10年以上に渡り最高ランクである★4つを独立機関から与えられていること、素晴らしい奉仕団体であり続けている奉仕団体であること。又財団の管理について、人頭分担金を半期で2ドルずつ上げさせて頂き、健全性を確保していること。奉仕活動は、7つの重点分野の重要性であること、そして、ロータリー平和センターには、ウガンダのマケレレ大学に続く中近東等に新しいセンターの準備が進んでいること、世界ポリオ根絶運動についてはもう少しで根絶に向け進んでいる事を話されました。



午後からは、第1セッションとして、「いまこそポリオ根絶」についてその意義と各地で開催されたポリオデーの成果と発表が行われました。

規定審議会報告があり、その後ブレイクアウト・セッションとして下記4つのセッションが準備されておりました。

1. 「DEI」について
2. 「新重点分野【環境】と会員拡大」
3. 「ウクライナへの人道的支援を考える」
4. 「貧困と教育機会」

私は「DEI」のセッションを受講いたしました。



22日は、ポリオ根絶について、「私とポリオ根絶」「1955年東京 ポリオ罹患 母の手記から」という内容で、ポリオウイルスと直接戦ったロータリアンの発表と続きました。そしてロータリーカードの運用について説明があり、クラブカードを使用することにより、ポリオ根絶に向け大きな資金を提供できることの実績の説明があり、ロータリーカードを利用された優秀クラブや個人が表彰されました。

又前日の4つのブレイクアウト・セッションで話われた内容に関する発表がありました。続いて、第2セッションとして、「ローターアクトの新しいステージをひらく」と題し、現役のローターアクトからの活動と年齢制限に係る問題点等話われました。第3セッションとして、「未来に架ける橋」と続き閉会式となりました。



4日間盛沢山のプログラムが続き、素晴らしい指導者のもと充実した内容で大変勉強になりました。